

# ほっとネット

## Contents

### P1 巻頭言

年頭のご挨拶  
院長 安藤 利昭

### P1 新任医師紹介

### P2 診療科発

がんと心血管疾患 一腫瘍循環器学—  
循環器内科 科長 大沼 義人

### P3 部門紹介

急性期病院の玄関～地域医療連携センター～  
地域医療連携センター長(副院長) 鶴間 哲弘

### P4 特集

防災の取り組み  
総務課 河原 幸雄  
栄養管理室 高橋 クミ

### P5 オータムコンサート

### P5 研修医だより

研修医 中村 泰幸

### P6 地域発

社会医療法人北海道恵愛会 札幌南一条病院  
副院長(循環器・腎臓内科) 土田 哲人先生

JR札幌病院 間違い探しゲーム

ほっとネット50号当選者発表



### JR札幌病院 基本理念

心の通う医療  
信頼される医療  
地域社会に貢献する医療

### 基本方針

1. 社会のニーズに合った専門的な医療を提供するよう、医療技術の向上に努めます。
2. 患者様の権利を尊重し、プライバシーを守ります。
3. 地域の各機関との連携を重視し、地域医療に貢献します。
4. JR北海道の職域病院として、社員・家族の健康増進に寄与します。



H29.10.6 日本医療機能評価機構より  
3rdG : Ver.1.1の認定を受けました。





## 年頭のご挨拶

皆様明けましておめでとうございます。

昨年は、未曾有の災害が繰り返し起こり、極めて多くの方が被災され、犠牲になられた方も多数いました。今まだご苦勞が続いている状況が報道されています。心よりお見舞い申し上げますとともに、できるだけ速やかな復興を心よりお祈り申し上げます。

一方で昨年はラグビー日本代表の活躍で大いに沸きましたが、今年は東京オリンピックの年で国中が更に盛り上がるものと思われま。ましてや北海道にとりましては思いがけない形で花形競技のマラソンが札幌で行われることになり、一層楽しみが増えたのではないかと思います。

さて、医療に関しまして、本年は非常に大きなイベントとしまして診療報酬改定があります。本体のマイナス改定という報道がなされており、医療を提供する側のみならず医療を受ける患者さんにとっても負担の大きいものにならないことを願っております。

当院は基本理念として「心の通う医療」「信頼される医療」「地域社会に貢献する医療」を掲げております。皆様ご存じのように、今後の更なる高齢化社会に向けて、地域包括ケアシステムが、政策として推進されています。患者さんの住まいを中心に、地域で患者さんの病状に応じたそれぞれの医療機能やケアを円滑に提供できるようにするシステムが

と理解しています。当院の急性期病院としての役割としては、システムの一端として“かかりつけ医制度”を推進することが「地域社会に貢献する医療」の一部を実現することかと考えております。患者さんには「複数主治医制度」であることをお話ししてご理解・ご協力を頂くよう努力しております。当院も既に近隣のクリニックの諸先生をはじめ多くの医療機関・施設の皆様との連携を頂いておりますが、急性期病院としての役割をより一層果たせるよう推進して行きたいと考えております。

人生100年の時代を迎えるにあたって、いかに健康で幸せを感じながら長生きするかは基本として大きな課題であることはいうまでもありません。この20年で高齢者の体力は10歳若くなったと言われております。健康を保つためにいろいろな方法が推奨されていますが、最近、特に運動を継続することの効用が多くの研究で実証・報告されています。若い頃から体力や環境に合わせて運動を継続的に行うことが重要とされ、70歳から始めても健康維持に役立つことも報告されております。今年も、毎日可能な範囲で少しでも体を動かし健康感を味わいながら明るい一年を過ごされることを祈念申し上げます。



院長

**安藤 利昭**



## 新任医師紹介

①略歴 ②専門分野 ③趣味 ④一言



内科・消化器内科 **みつはし けい**  
**三橋 慧**

- ①平成20年札幌医大卒、函館五稜郭病院、市立小樽病院、恵佑会第2病院、札幌外科記念病院、手稲溪仁会病院、道立江差病院、札幌医科大学消化器内科学講座助教を経て、令和元年10月より当院勤務
- ②消化器内科、内視鏡診断・治療
- ③音楽鑑賞、テレビゲーム
- ④丁寧な内視鏡検査・治療からちょっとした不調まで幅広く対応いたします。どうぞお気軽にご相談ください。



# がんと心血管疾患 —腫瘍循環器学—

2人に1人はがんになる時代です。がんは早期発見・治療が重要であることに変わりはありません。最近のがんの治療も進歩し、予後も改善してきています。日本人の死因のトップは依然としてがんですが、治療後も長く生きられようになったため75歳以上の高齢になると循環器疾患で亡くなるの方が多くなってきます。がんは克服したのに高齢になると心臓や血管の病気が問題になってくるのです。抗がん剤による心臓への副作用は、さまざまな治療薬で起きますが、アドリマイシンという良く使用される治療薬などでは心臓に毒性のあるものがあり心不全を起こすことが分かっています。

また、がん治療中の死因はがん自体によるものですが、2番目に肺血栓塞栓症が多く、注意が必要になってきています。

肺血栓塞栓症とは血管の中で血の塊である血栓ができ、それが肺の血管に詰まってしまう病気です。エコノミークラス症候群ともよばれ、ご存じの方も多いのではないのでしょうか？

血栓の大きさにより症状は様々ですが、中には肺の太い血管が根元から詰まるとショック死になることもあります。

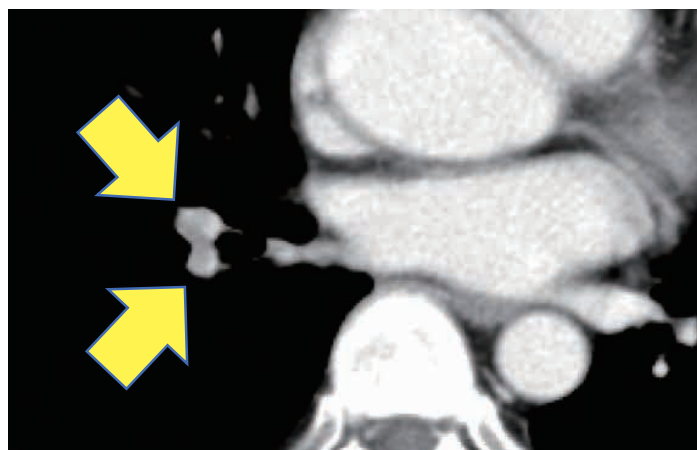
血栓は一般的に①血液凝固能の亢進、②血流の停滞、③血管壁の損傷のうち一つ以上の異常によって起こるとされています。がん細胞やがん組織周囲の炎症部位は、血栓をつくりやすい組織因子や凝固促進因子、サイトカインなどの物質を放出するなどしており凝固能が亢進しています。また、治療のため長期臥床が必要になる等により血流の停滞が起こりやすい環境となります。さらに注射薬の投与のため中心静脈カテーテルが必要な場合にはカテーテルにより血管内皮が損傷されるなど、血栓のできやすい環境にあります。このため、がんの患者さんに対する血栓症の治療介入は極めて重要となっています。日本では2017年に日本腫瘍循環器学会が発足し、がんの患者さんから循環器疾患を予防し



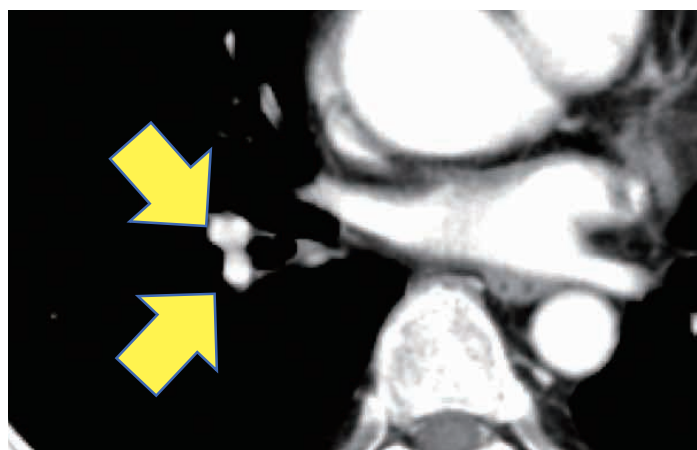
循環器内科  
科長  
**大沼 義人**

ようと注目が集まってきています。治療も以前は薬や食べ物との相互作用があり、血液検査での効果判定や容量調節も頻りに調整必要なワーファリンという抗凝固剤の内服が主でしたが、最近ではDOACという直接経口抗凝固薬の有用性ががん患者の血栓塞栓症においても報告され、細かな容量調整も必要がなくなってきました。今後の高齢化社会において重要な分野であると思われます。

DOAC投与前：矢印部分に血栓



投与5か月後：血栓が消失



## 部門紹介

急性期病院の玄関  
～地域医療連携センター～

病院には、さまざまな部署があります。皆さんは、『地域医療連携センター』って、病院内でどんな役割を担っているか知っていますか？ このページをお借りして、簡単にご紹介します。

## (1)前方連携：紹介予約・かかりつけ医のご紹介

近隣の医療機関からご紹介いただいた患者さんが、スムーズに外来受診できるように受診や検査予約の諸手続きを行っています。その対応には、看護師2名、クラーク2名が、朝から夕方まで、近隣の医療機関からひっきりなしにくるFAX・電話に汗だくで対応しています。

また、『総合病院は時間がかかるんだよね・・・』『朝に受付したのに終わったら夕方！病院に来るだけで疲れちゃった・・・』なんて言葉をよく耳にします。待ち時間を少なく迅速な診療を心がけていますが、毎日、たくさんの患者さんを診察・検査していますので、どうしても待ち時間・診療時間が長くなってしまいます。また、外来予約もなかなかとりにくい状況があります。このような状況を解消するため当院では、“かかりつけ医紹介制度”に力を入れています。

当院での治療後、症状が安定した患者さんには、患者さんの自宅近隣のクリニックなどの医療機関をご紹介させていただき、普段の診療は近隣のクリニックの先生に、検査や入院などが必要な場合は当院へ来院して頂き、二人の主治医が密接な連絡を取りながらダブル主治医制として対応をさせて頂いてます。

地域医療連携センターはこれらの制度をスムーズに進める役割も担っており、症状が安定した患者さんが、その後に通院しやすいクリニック、病院をご紹介させていただいています。



地域医療連携センター入口

地域医療連携センター長  
(副院長)

鶴間 哲弘

## (2)後方連携：退院調整・医療相談

病気・入院生活によって体力が低下し、入院前に可能であった事が出来なくなってしまう、あるいは、今までと同じような自宅生活を送ることが困難になってしまふことがあります。患者さんが安心して退院できるように、入院早期から退院調整・支援をしています。具体的には、自宅退院を目指す場合には在宅サービスの導入や調整、自宅退院が困難な場合には新たな入院先や入所施設についての相談も受け付けています。さらに、さまざまな不安を抱えながら自宅退院する場合には、退院前・退院後にMSW(医療ソーシャルワーカー)または退院調整看護師が自宅訪問し、地域のケアマネージャー等と連携をしながら安心してご自宅で過ごせるようお手伝いさせていただいています。当院にはMSW4名、退院調整看護師1名がおり、各病棟と外来患者さんの担当をしています。

以上、『地域医療連携センター』の役割をご理解していただけたでしょうか？

当センターは、センター長の鶴間、師長の太村、そして、いつも笑顔のスタッフ9名で運営しています。病院正面の受付右側に位置しています。困ったことがありましたら、ご相談に来てください。病院受診時から、検査、入院、そして退院後まで地域の医療機関や施設との懸け橋となり、患者さんが安心して生活できるよう関わらせて頂きたいと思っています。

今後も、末永くよろしくお願い致します。

電話番号 011-208-7169(地域医療連携センター直通)

F A X 011-208-7170(地域医療連携センター直通)

予約受付時間 月-金:9:00-17:00 土:9:00-12:00



笑顔があふれるスタッフ

## 特集

## 防災の取り組み



総務課

河原 幸雄

## ①自家発電機

当院の非常用発電機は2009年の病院建替え時より、外来棟地下に容量500KVAディーゼルエンジン発電機1基と本館棟南側屋外に容量300KVAガスタービン発電機1基のあわせて2基の発電機で停電時のバックアップ体制としていました。300KVAガスタービン発電機については旧病院時代の1999年に設置したものを移設していましたが、設置後20年近く経過したため、発電機の更新を計画していたところ2018年9月6日の北海道胆振東部地震において北海道全域が停電(ブラックアウト)するという今までに経験のない事態が発生しました。そん

な最中、当院の発電機は2台ともその機能を十分に発揮し病院機能を維持するため重要な役割を果たしました。しかしながら更新予定の300KVAガスタービン発電機は燃料タンクの容量と燃費の兼ね合いから停電中は燃料を補給しながらの運転となり関係者には大変なご苦労をかけました。しかし、その発電機も本年(2019年)10月に更新が実施され24時間無給油で運転可能なものとなりより安全性を担保できる体制となりました。

## ②防災訓練

当院では、昨年度の北海道胆振東部地震の際に発生した停電(ブラックアウト)に備え、非常用発電機の更新を行い、去る10月27日(日)に発電機の切替作業と電気設備の年次点検を行いました。あわせて、その際に停電が発生することから、それらに備えた訓練を実施しました。

臨床工学室、防災実行委員会メンバーを中心に各部門と連携し停電発生時の病院機能の状態確認や問題点の洗い出し等を行いました。

想定外の事象が多い昨今において、今後もこのような訓練などを通して、少しでも災害時での患者さんの不安

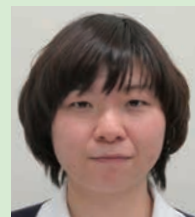
を払拭できるように努力していきたいと考えております。



## ③防災時の非常食

北海道胆振東部地震の際、停電により非常食の提供まで難渋したため、マニュアルと非常食の内容を見直しました。非常食の具体的な献立(病態・咀嚼・飲み込みに配慮した献立)の3日分と、保管場所がすぐわかる内容のマニュアルを作成し、職員の誰がみても対応できるようにしました。さらに、院内安全パトロールより、病棟に「非常食の栄養成分表示がわかる献立」があると、患者さんに安心して食事をしてもらえるのではないかと助言があり、現在、作成し各病棟に配布予定です。

まだまだ十分ではないかもしれませんが、災害発生時に患者さんに安全な食事を滞りなく提供できるように準備しております。



栄養管理室

高橋 クミ



非常食

咀嚼・飲み込みに配慮した非常食

# オータムコンサート

2019年11月9日、JR札幌病院1階ロビーにて、オータムコンサートが開催されました。

今回は、北海道札幌国際情報高校合唱部の皆さんにご協力いただきました。合唱部の皆さんの若さと元気の溢れる歌声に、集まった患者さんだけでなく私たちスタッフも思わず聴き入ってしまい、30分があっという間に過ぎてしまいました。

今回のコンサートが入院生活の息抜きとなった方もいるのではないのでしょうか？

合唱部の皆さん、ありがとうございました♪

## 曲目

- ♪インディアン
- ♪若人の歌
- ♪いつも何度でも(千と千尋の神隠しより)
- ♪未来へ(kiroro)
- ♪カリブ夢の旅
- ♪Tomorrow(岡本真夜)
- ♪TRAIN-TRAIN(ブルーハーツ)



# 研修医だより

皆様初めまして。只今JR札幌病院で初期研修をさせていただいております、研修医二年目の中村泰幸と申します。簡単にですが自己紹介させていただきます。私は生まれも育ちも札幌市で、出身高校は札幌西高校、出身大学は札幌医科大学です。生まれ育った札幌の地で働くことができ、とても充実した日々を過ごさせていただいております。研修医一年目は札幌医科大学で研修をさせていただきました。初期研修終了後は呼吸器外科医として札幌医科大学で勤務する予定となっておりますので、二年目のJR札幌病院では外科を中心に研修させていただき、さら

に一年目に学び足りなかった内科も研修させていただいております。JR札幌病院では優しい先生方、看護師さん、コメディカルの皆様、そして事務の方々に支えられながらのびのびと研修をさせていただき、大変充実した研修を行っております。今後、よりよい医療を私自身が患者様に提供できるよう、また後輩にも研修病院としてJR札幌病院を自信をもって勧められるよう、残りの研修生活をさらに充実させ立派な医師として成長していきたいと思っています。よろしく願いいたします。



研修医  
**中村 泰幸**

地域発

## 社会医療法人北海道恵愛会 札幌南一条病院

副院長(循環器・腎臓内科) 土田 哲人 先生



## 新病院での診療を開始しました!

私事で恐縮ですが、ほんの2年前までJR札幌病院に勤務させて頂いておりました。今では随分昔のことに思われますが、この間私自身も長期入院を余儀なくされる経験をし、患者様およびスタッフには大変ご迷惑をかけたこともありました。与えられた第二の人生をどのように活かして行くか今自分に何ができるかを考えるに至り、専門としてきた循環器・腎臓疾患を中心に、高齢者および障害者を対象とした医療に取り組んで行く決心をし、現在の病院での勤務を開始しました。今は体調もよく元気に勤務しております。

前述のように当院は、障害者・高齢者を対象とした循環器・腎臓および呼吸器の慢性疾患に力を入れています。一方、地域医療の一端を担う一般病院としても機能しており、その一環として、透析治療においては、自宅・施設と病院間の無料送迎サービスを提供しており、現在約60名の患者様が利用されています。さらに最近では、慢性腎臓病の進行予防のための教育入院も開始しました。当院の旧家屋は築50年と老築化が著しかったのですが、ようやく悲願の新病院の病棟と外来部分が完成し、2019年4月より新たな診療を開始しました。新病院の特色として、環境省ネット・ゼロ・エネルギー・ビル(NEB)実証事業(2017年)として道内唯一の認可建築物であることが上げられます。一年中快適な室温を保ちつつも省エネ設計により環境にも優しい病院になりました。新病院の内部をご紹介しますと、以前は2階にあった外来を車いすの方でも受診しやすいようにすべて1階とし、受付から受診・会計まで移動少なくスムーズに出来るよう工夫しました。2階には70名が同時に治療できる市内で最も広い透析室(最大210名受け入れ可能)と快適なラウンジを用意し

ました。また3階は、従来の1.5倍のリハビリスペースを用意し、心臓・腎臓および呼吸器リハビリテーションを推進しています。4-6階は入院病棟で、車いすのまま入室できる多目的トイレ・特殊浴室、広い食事スペースを作りました。最上階の7階は、講堂となっており、職員研修だけではなく、学術講演会、さらには市民健康講座の会場として利用しています。また、ベランダ・バルコニーでは、患者様のリハビリの一環として家庭菜園を作っており、今後、豊平川花火大会の鑑賞も企画しています。残念ながら病院はまだ完成していません。旧病院の解体後、新病院の外来の西側に接続した正面玄関(現在は仮玄関使用中)と駐車場を開設します。2020年7月にはすべて完成した新病院をお披露目できると思います。

従来からJR札幌病院には医療連携を通して大変お世話になっていますが、今後も患者様が快適な生活を送れるように当院もなお一層協力していきたいと存じます。入院・通院および退院後の生活支援とともに適切な食事療法や運動療法も含め、多面的なサポートをし、病気と上手く付き合っていくことのお手伝いをしていければと考えています。



新病院完成予定図



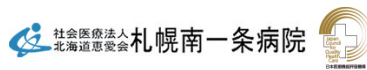
バルコニー(7F)からの眺め



市民公開講座写真



健康フェア写真



〒060-0061 札幌市中央区南1条西13丁目  
TEL: 011-271-3711 FAX: 011-281-0275

診療科目 循環器 腎臓内科 呼吸器内科 消化器内科 リハビリテーション科  
内科 放射線科 人工透析(夜間透析対応) 各種健康診断(企業健診)  
人間ドック 血管ドック SAS(睡眠時無呼吸症候群)検査

診療時間 平 日: 9:00~17:00(受付時間: 8:30~11:30/13:00~16:30)  
健康診断【午前】11:00まで/【午後】16:00まで  
土曜日: 9:00~13:00(受付時間: 8:30~11:30)  
健康診断【午前】11:00まで

休 診 日曜・祝日

ホームページ: <http://www.h-keiaikai.or.jp/minamiichijo/>

クイズに答えて  
景品を当てよう!!

# JR札幌病院 間違い探しゲーム

2つの写真から、5つの間違いを探そう!  
正解者には、抽選でクオカードがもらえるヨ  
息抜き、暇つぶし、頭の体操にやってみよう~



## 応募要項

**応募期間:** 令和2年2月1日~2月29日

**応募方法:** 応募用紙の写真の間違い箇所に入れ、地域医療連携センター前に設置の応募箱へご投函、又は、紙面上の写真を取り取って(コピーも可)〇を記入し、住所・氏名を記載の上郵送でご応募ください。

**応募先:** 〒060-0033 札幌市中央区北3条東1丁目 JR札幌病院 地域医療連携センター  
※氏名の公表を希望されない場合はペンネームを掲載いたします。

**発表方法:** 広報誌『ほっとネット』紙面上にて発表いたします。

## ほっとネット50号当選者発表

5つのまちがいは



1、フセン 2、白衣のぼたん 3、子供の帽子 4、ピンポン玉の数 5、NSさんのあごのホクロ

応募総数 **11人**

抽選の結果、次の5名の方にクオカードをお送りいたします。

青木 ツヤ子 様、キサぼんちゃん 様、くみくみ 様  
中村 有美 様、中村 巳代 様

## 編集後記

今年は、何といってもオリンピックア-!しかもマラソンと競歩は札幌開催です。オリンピックが東京に決まった時には「まだまだ先...その頃は結構な年齢だ」と思っていたのも束の間、「結構な年齢」になりました...が、選手の皆さんにあやかって、汗して何かを得る努力をしていきたいと思ひます。まずは、心身のアンチエイジングから!! (ダイソン)

発行日/2020年1月31日

編集長/吉田 英昭

編集者/大村 早代・小原健太郎・河野 通晴・中澤 英之・夏目 健文  
正木 良紀・松本 道明

発行所/札幌市中央区北3条東1丁目

JR札幌病院 広報誌企画編集委員会

<https://hospital.jrhokkaido.co.jp/>